SOWER

ソア＝種まく人
No.26
July 2005
財団法人
日本聖書協会

特集 パノラマバイブル 体験する聖書

新聖書の世界 25

写真／文 横山匡

ペルセポリス王宮

キュロス大王が築いたペルシアは、インダス川からエジプトまで支配する大帝国でした。これを受け継いだダレイオス一世は、広大な帝国内に巡らせた「王の道」や、壮麗なペルセポリスを築き、二百年に及ぶ帝国存続の基礎を作りました。多民族を支配するうえで、それぞれの文化、宗教に対して寛大な政策を採ったことが繁栄のもとになりました。

ペルセポリス遺跡の至るところに、貢ぎものを献上する人々や兵士の列が刻まれています。ペルシア帝国の強大さを誇示しているのでしょう。

イスラエルの地に帰還するユダヤ人にもたいへん好意的で、エルサレム神殿の再建に対しては援助を惜しみませんでした。

現在のイランはイスラエルと敵対していますが、ダレイオス王の寛大さがあれば、和平はただちに訪れることでしょう。

「エルサレムにあるこの神殿を破壊しようとする王や国があれば、そこを御自分の名の住まいとされた神が、一人残らず滅ぼされるように。わたしダレイオスが、この命令を下す。命令どおり実行せよ。」

エズラ記六章一二節

The World of the Bible “Persepolis Palace” / Photo & Essay by Tadashi Yokoyama

巻頭聖句

まず第一に勧めます。
願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。
……これは、わたしたちの救い主である神の御前に良いことであり、
喜ばれることです。

（テモテへの手紙一　2章1～3節）

日ごと、私たちの耳目に飛び込んでくる情報は心痛むことばかりです。
先に救いにあずかっているキリスト者として、
まだ救われていない人たちのために執り成すことを主は願っておられます。
神と交わる密室の祈りで自らを整えられ、他者のため、特に青少年の救いのため、
国家国民、為政者のため、さらに世界平和のために心を合わせての執り成しの祈りが求められています。
全国に130余ある朝祷会は、み言葉に聴き、他者のために祈る群れとして、
海外を含め全国各地で毎週、毎月持たれています。
朝祷会全国連合では、すべての都道府県に朝祷会が設立されることを願い祈っています。
お祈りください。

米田 昭三郎
よねだ　しょうざぶろう
朝祷会全国連合会長

表紙の言葉
インドネシア共和国は大小合わせて1万3千以上の島々からなり、主な島にスマトラ島、ジャワ島、バリ島等があります。この地域は火山が多く、火山灰でできた肥沃な土地と熱帯気候で農業に適しています。また森林や石油など、天然資源にめぐまれ、多くの民族が多様な文化をもっています。
（絵＝月本佳代美）

CONTENTS

Sower
No.26
2005

2 ソア26号発行によせて
JBS NEWS　渡部 信
3 海外情報
スマトラ沖地震・津波被害　支援状況
特集
4 パノラマバイブル
体験する聖書
10 聖書セミナー――❹ 廣石 望
コリントの信徒への手紙二を読む
12 エッセー――㉓ ジョン・チャヌ
パリでの修業時代とイエスのヴァイオリン
14 人物と聖書　鈴木範久
山室軍平と聖書
16 JBS情報
ミニ聖書展開催のおすすめ
超教派による聖書リレー朗読会
17 日めくり聖句カレンダーのご案内
19 Bible Guide
旅行に最適！ ポケットに入る新約聖書
20 後援会員になってください
21 聖書図書館蔵書シリーズ――㉔
ウィクリフ訳新約聖書

Bible Verse & Essay by Shozaburo Yoneda

ソア26号発行によせて

会報誌「SOWER」ソア（＝種まく人）26号をお届けいたします。

1875（明治8）年に日本における聖書協会の活動が始められてから、今年で130年を迎えようとしています。皆様の尊いお祈りとお支えをいただいてまいりましたことに心より感謝申し上げます。今日、日本人は未曾有の物質的な豊かさの中にあります。一方で心の問題は置き去りにされ、社会のそこかしこに歪みと軋みが生じています。そのような中にあって私どもは、絶えざる変化の波に押し流されることなく、まだみことばを知らない方々へ聖書を頒布する働きに邁進してまいりたいと思います。これからも新しい企画に積極的に取り組み、努力を重ねてまいります。

本号では、今秋発行予定の「パノラマバイブル」を特集として取り上げました。豊富なチャート、図版資料などの一端をご紹介いたしましたが、実際に現物をお手にとっていただき、聖書の世界の広さ、深さ、そして楽しさを堪能していただければと願っています。ぜひご家庭や教会で一冊お求めいただきたく、お勧めいたします。

財団法人　日本聖書協会
総主事　**渡部　信**

ご送付分の封入物について

- **『パノラマバイブル』注文書つきパンフレット**
  全国の書店でご予約注文を承っておりますので、どうぞご利用ください。
- **映画「マザーテレサ」チラシ**
  日本聖書協会も後援しています。今夏ロードショーの予定です。
- **「2006 アートバイブル ＜名入れ＞カレンダー」見本**
  好評の『アートバイブル』から厳選した絵画とみことばを合わせた2006年カレンダー、お名入れは50部以上のご注文からご予約を承ります。
- **「神戸バイブル・ハウス　ニューズレターNo.11」**
  関西における聖書普及の活動がわかります。

BS NEWS

スマトラ沖地震・津波被災地を訪ねて

渡部　信
わたべ　まこと
日本聖書協会総主事

4月にマレーシアにて聖書協会アジア・太平洋地区総主事会議に出席した折に、私はタイのプーケット島を訪れました。島の西側のバトン海岸側が被災地と聞いて出向いたところ、海岸沿いの建物はみな、新築、あるいは改築中でした。ほとんどの人々にとって津波は初体験であり、ただ海の水が突然流れ込んできて、何が何だか分からない状況で、早く逃げた人が助かったというのが生死の分かれ目となったようで、いまだにかなりの行方不名者がいるということです。そこで、プーケット島を出て、最も被害が大きかった北側の海岸線のタイムアンという場所に現地の人々に連れていってもらいました。ここでの死者の多くは、44カ国にものぼる外国からの観光客です。

もうひとつ特徴的なこととしては、海抜ゼロメートルにある宿泊施設は壊滅したのですが、わずか2、3メートルでも高いところにいた人は被害が少なかったということです。ニュースで聞くように、すべての人々が被害にあったのではなく、たまたま海抜ゼロメートルにいて逃げ遅れた人々がその被害にあったというのが本当の姿でしょう。その点、こうした観光地よりも、インドネシア、スリランカのほうが、現地の人々の被害が大きかったのかもしれません。

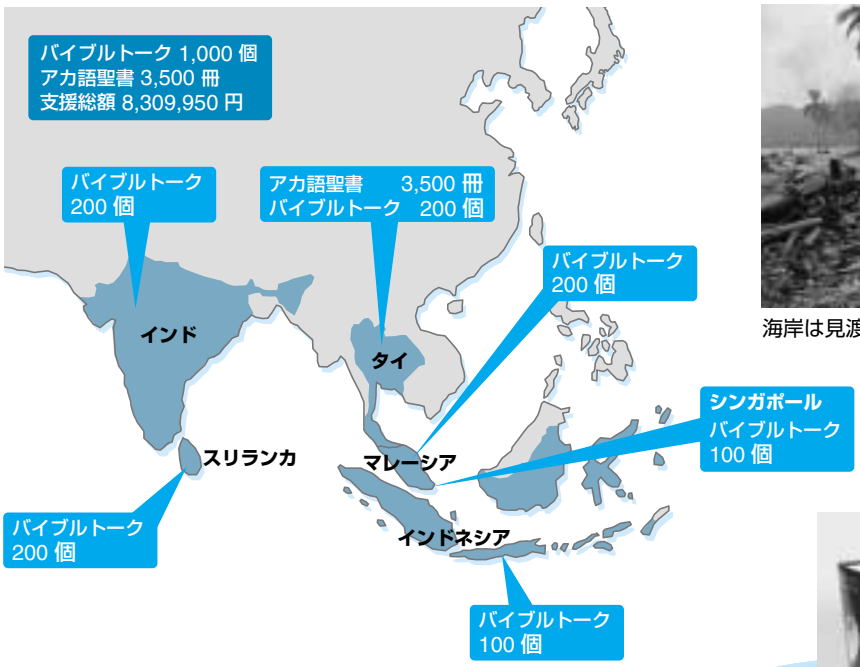
日本聖書協会ではこのたび英語の音声聖書バイブルトークを1,000個製作し、被災国であるスリランカ、インド、マレーシア、タイ、シンガポール、インドネシアの6カ国へ寄贈いたしました。日本聖書協会として何を支援すべきかと考えた結果です。そこには、各国聖書協会がチャリティ頒布することによって得た資金をそれぞれの復興の用途に用いてもらおうという意図が働いています。ただ、タイだけはすでにアカ語聖書を製作中でしたので、この分の3,500冊の聖書を寄贈いたしました。

津波の被害にあったホテル

各国犠牲者の遺体が安置されている慰霊所

スマトラ沖地震・津波被害　支援状況

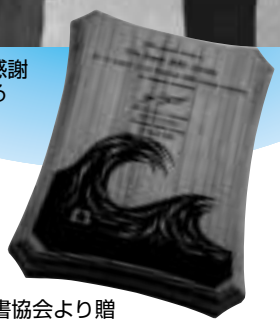
日本聖書協会は、スマトラ沖地震被災国で困難な状況の中にある方々に希望を持ってもらおうと、英語CEV版バイブルトークとアカ語聖書を寄贈いたしました。（ご希望の方には、英語版バイブルトークをお分かちします。20個限定です。その益金も、被災者の方々への支援にあてさせていただきます。）



海岸は見渡すかぎり、がれきの山（タイ）

タイから支援感謝の盾を受け取る渡部総主事

英語CEV版バイブルトーク


タイ聖書協会より贈られた支援感謝の盾

英語版バイブルトークについてのお問い合わせは下記まで

財団法人 日本聖書協会　頒布部
〒104-0061　東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル
TEL.03-3567-1987　FAX.03-3567-4451
E-mail：distri@bible.or.jp

特集

見るか。読むか。学ぶか。

パノラマバイブルの魅力を語る

※本特集で取り上げた画像のレイアウトは、若干変更になる可能性があります。

パノラマバイブル

体験する聖書

「聖書って何だか難しい」
「興味はあるけど、地名は馴染みがないし、
系図が複雑でよくわからない」。
このようにお考えの方も多いでしょう。
今年9月、そんな悩みにこたえる
画期的な聖書が登場いたします。
聖書協会が日本での活動130周年を
記念して製作いたしました
『パノラマバイブル』。
ここでは、聖書の世界を
視覚的・立体的に理解できる
パノラマバイブルの魅力の一端を、
発行に先立ちご紹介してまいります。

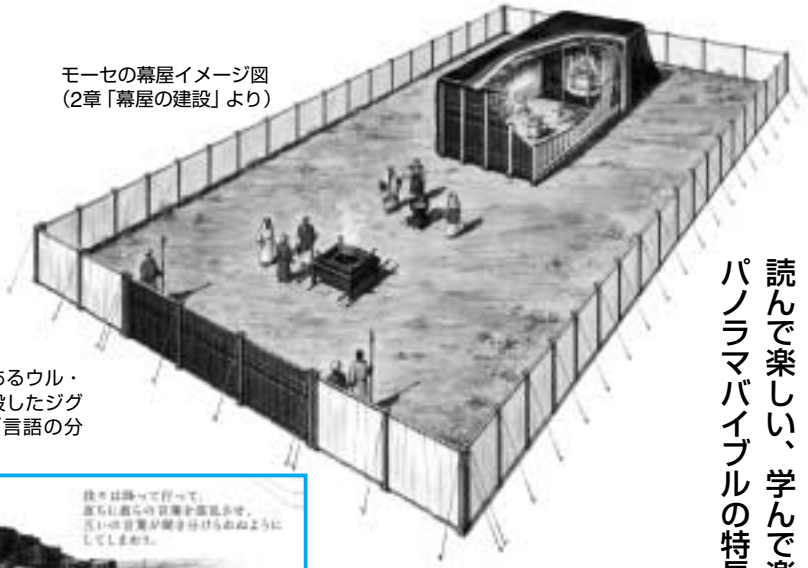
編集部

（パノラマバイブル　1章「虹の契約」より）

『パノラマバイブル』

見るか。読むか。学ぶか。

多くの図版に詳細な解説、しかも全編フルカラー。見て楽しい、読んで楽しい、学んで楽しい。この魅力の多様性こそが、パノラマバイブルの特長です。



モーセの幕屋イメージ図
（2章「幕屋の建設」より）

ウルの遺跡にあるウル・ナンム王が建設したジグラット（1章「言語の分裂」より）

見るか。

本書の魅力は何と言っても、目で楽しむことができるということです。「字だけ追っていても、わかりづらい」という方でも大丈夫。一たびページをめくれば、聖書の世界が鮮やかに目の前に広がります。

●多くの美しい図版

「モーセは、まず、台座を置き、壁板を立て、横木を渡し、柱を立てて……」（出エジプト記四〇・一八）

臨在の幕屋建設の一節です。しかし、いかに聖書の記述が詳細とはいえ、字だけを追って建物の様子を明確に思い浮かべるには、人間の想像力では限界があります。百聞は一見にしかず。百八十点を越すイラストと写真は、聖書の世界をよりいきいきと理解するのを助けます。

●読者のインスピレーションをかきたてる名画

ミケランジェロの『最後の審判』、マサッチオの『楽園追放』など、聖書の世界は西洋絵画に数多くの題材を与えています。聖書の場面を脳裏に思い浮かべる際、それが有名な絵画とシンクロする方も少なくはないでしょう。本書でも、百二十点にも及ぶ絵画が聖書の一場面一場面を色彩豊かに彩ります。

●立体感あふれる地図

聖書の舞台は、パレスチナを中心に、メソポタミア、エジプト、ギリシア、ローマと広範囲にわたっています。日本から遠く隔たったこれらの土地は私たちにとって馴染みが薄く、ヤコブのたどった足跡一つ例にとっても、その場所を正確に把握するのは困難です。四十近い地図が聖書の言葉と並べられているパノラマバイブルでは、地形を把握しながら、場面の展開を追うことができます。

エジプト王に貢を捧げに来た周辺国の人々のレリーフ（1章「神の計画と知恵」より）

読むか。

●新共同訳聖書の抜粋

多くの図版や解説が特長とはいえ、やはり基本は「聖書を読む」ということです。しかし、聖書の内容はあまりにも膨大で多岐にわたり、その流れを把握することは決して容易ではありません。本書では、「神の救い」という主要テーマに沿って、聖書の言葉を新共同訳聖書から抜粋しています。

●聖書六十六巻を網羅

パノラマバイブルでは、創世記からヨハネの黙示録に至る聖書六十六巻から、それぞれ代表的な個所を抜粋しています。最初から最後まで通

ヤコブのたどった道
（1章「ヤコブからイスラエルへ」より）

聖書の言葉をヴィジュアル的に体験する　ソドムとゴモラ

その罪深さと堕落のゆえに神の怒りに触れたソドムとゴモラ。神は、天から硫黄の火を降らせて町を滅ぼす前に、ロトにこう告げています。

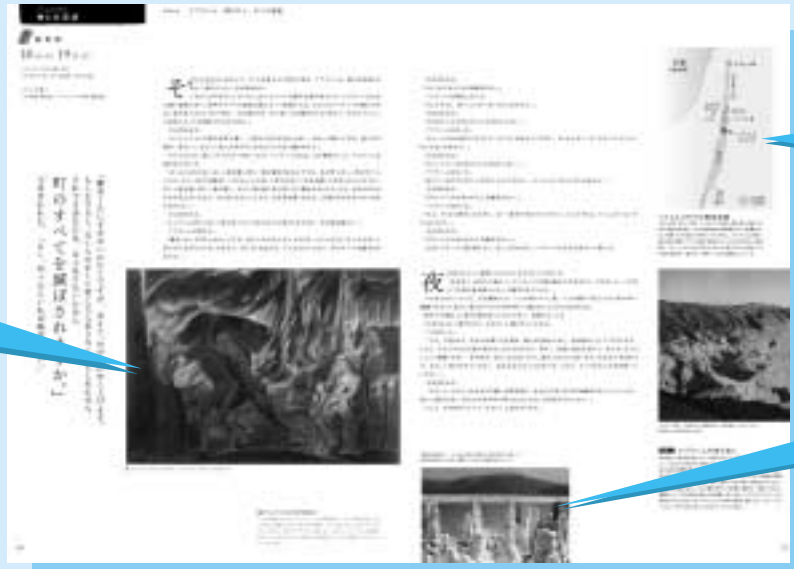
「低地のどこにもとどまるな。山へ逃げなさい」
（創世記19:17）。

ここに掲げた地図からは、ソドムとゴモラがどんな低いところにあったかがわかります。大地溝帯と言われる亀裂がガリラヤ湖からヨルダン川、死海を通り、紅海のほうに延びています。地図を見れば、低い低い死海のすぐそばの町にいた人々の罪深さが自然と感じられます。

また地図の横には、多くの塩の柱が立っている死海南岸の風景写真も掲載されています。

「ロトの妻は後ろを振り向いたので、塩の柱になった」
（同26節）。

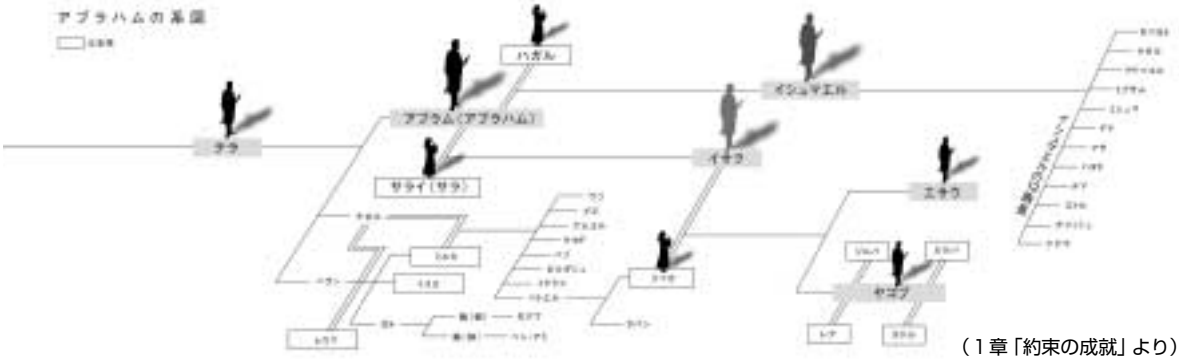
写真を見、さらにソドムとゴモラ滅亡の絵画をあわせて鑑賞することにより、この聖書の言葉の持つ臨場感、そしてソドムとゴモラの滅亡という大事件をよりいきいきと体験できます。



ソドムとゴモラの想定地図
（1章「神との交渉」より）

死海の塩の柱
（1章「神との交渉」より）

「災」
ウィリアム・ブレイク
1805、ニューヨーク、モーガン・ライブラリー
（1章「神との交渉」より）



（1章「約束の成就」より）

して読んでいただくことで、聖書の流れと基本的なメッセージをより深く理解することができるでしょう。

学ぶか。

もう一つの大きな特長は、聖書を読み、その世界をいきいきと思い浮かべられるだけではなく、聖書の時代、背景、言葉をより詳しく学ぶことができるという点です。各章ごとに施された詳しい解説や用語説明は、聖書の言葉や行間をより深く掘り下げるのを助けます。

●チャートや年表を多数掲載

聖書の世界は複雑です。登場人物が多く、出来事も入り組んでおり、それらを正確に把握しながら読み進めるのは困難です。たとえば創世記一つをとってみても、アダムからノア、ノアからアブラハム、アブラハムからヨセフに続く膨大な人物関係を正確に把握するためには、聖書を何度も繰り返し読まなくてはなりません。登場人物の系図や関連する歴史的出来事を並べた年表を、聖書本文と同じページに掲載することにより、出来事の流れや人間関係が把握しやすくなっています。

●考古学的資料を満載

聖書の世界は、多くの考古学的発見により裏づけられ、研究されています。ギルガメシュ叙事詩を刻んだ粘土板、ソロモン王の神殿、二十世紀初頭に発見された死海文書……。遺跡や遺物を知ることは、聖書の内容だけでなく、その周辺世界の文化を知ることにも繋がります。

●学問的でわかりやすい解説

「なんという空しさ　なんという空しさ、すべては空しい」。

この冒頭の句で有名なコヘレトの言葉。しかし、同書が言わんとしていることは、決して厭世的な無常観ではありません。コヘレトが伝えたい事柄とはいったい何だったのか。パノラマバイブルでは、各項目ごとに、聖書を理解する上で助けとなる解説が設けられています。

科学が発達した時代における天地創造神話の意義とは？

見開きで聖書の世界がつかめる
パウロの宣教

異邦人への使徒パウロ。ダマスコ途上でのキリストとの邂逅から、彼の宣教者としての倦むことのない活動が始まります。使徒言行録に記されている3度にわたる伝道旅行と、新約聖書に残されている14通に及ぶ書簡は、伝道に対する彼の熱意と不屈の精神を伝えています。

パノラマバイブルでは、パウロの行程を示した見開き地図とともに、関連する場所の写真を掲載しました。聖書の個所を読み、写真を見ながらパウロの足跡をたどることによって、彼が宣教した世界をより鮮やかにイメージすることができます。

パウロの宣教旅行（3回目）とローマへの旅
（10章「パウロの宣教旅行（3回目）」より）

メシャ碑文
北イスラエルのオムリ王はモアブ王国を隷属させたが、ヨラム王の代に、モアブの王メシャがイスラエルに反旗を翻し、独立を勝ち取った（王下3：4―27）。この事件をモアブ側から記録した石碑は、メシャ碑文（あるいはモアブ碑文）と呼ばれ、1868年にディボンで発見された。
（5章「バアル神との対決」より）

（1章「天地の創造」より）

現在のパレスチナ紛争と聖書との関係は？

理想的な王であるダビデとその罪とは？……

これらの解説は、併記されている聖書の用語解説やヘブライ語解説とともに、聖書をより深く学ぶのに役立ちます。

最後に

ここでは、「見るか。読むか。学ぶか。」というテーマに沿ってパノラマバイブルの魅力を紹介してまいりました。本文では紹介できませんでしたが、本書の特長はそれだけにとどまりません。聖書の世界をより理解していただくために、そのほかにもさまざまな工夫が施されています。

たとえば、各章の最後につけられたコラムもその一つです。このコーナーでは、本書の9章にある「ローマ皇帝ティトゥスによるエルサレムの陥落（A.D.70年）」のように、聖書の中では詳しくは触れられていない、しかし聖書の世界と深い関係のある事柄を取り上げています。

また、旧約聖書続編からも本文を抜粋しており、詳細な解説もつけられています。そして、「教会の広がりとその歩み」と題して設けられた最終章。ここでは、聖書の世界から私たちの時代に至るまで、どのように教会が発展し、歩んできたかを概観することができます。

パノラマバイブルは、聖書の本文そのものと、系図、地図、年表、イラスト、解説を見開きページに並列することにより、詳細な解説を読んだり、ヴィジュアル的に楽しんだりするうちに、いつのまにか聖書がわかるようになることを目指しています。全編フルカラーに加えて、大きさもB4判（257mm×364mm）とたいへん見やすいサイズに設定されています。

見ながら学べる本書は、教会学校、キリスト教学校の聖書課の教材として最適ですし、ご家庭での聖書理解にもお役に立てるでしょう。また、学問的な資料や解説を豊富に掲載しているため、大学図書館などにおいて、聖書をより深く学ぼうという方のお役に立つことができればと思っております。

編集者の声

パノラマバイブルは、聖書の知識を増やすことが目的ではありません。それは参考書や注解書で可能なことです。直接に聖書の言葉を繰り返し読み、随所に盛り込まれた写真、絵画、年表、地図、チャートを眺めることで、聖書世界の空間と時間にじかに触れるような体験をする一助になることが目的です。パノラマバイブルを手にとることで、「聖書がわかった」というワクワクドキドキの瞬間を何度でも味わっていただきたいのです。聖書がわかったと思った次の瞬間には、さらに深いレベルで広がる聖書の世界、まだまだ聴きたい神の言葉があることに気づかされることがあります。パノラマバイブルを通して、聖書と皆様の長いお付き合いが結ばれることを願って止みません。

出版部　谷口裕子

コリントの信徒への手紙二を読む

廣石 望
ひろいし のぞむ
フェリス女学院大学国際交流学部助教授・チャプレン
日本基督教団・代々木上原教会伝道師

コリント教会について

コリント教会は、使徒パウロの開拓伝道によって紀元五〇―五一年頃に誕生した。コリントは属州アカイアの首都であり、エーゲ海とアドリア海をつなぐ地峡に位置するという地の利を生かした中継貿易で栄えた。古代の文献は、この地でさまざまな異教崇拝が盛んに行われたことを伝えている。コリントは、人や物の移動に伴い、多様な宗教文化が流入する都市であった。

新約正典には二通のコリント教会宛の手紙が保存されており、使徒言行録の記述（使一八章）とあわせ読むと、この若い教会の歩みがさまざまな紆余曲折を含むものであったことがよく分かる。その背景には、当時のキリスト教伝道の多様性と並んで、国際都市ならではの文化的な多様性と流動性という社会状況があると思われる。

手紙の統一性の問題

多くの学者たちが、この手紙は複数の独立した手紙を合体させたものだと考える。私もそう思う。しかし、いくつの手紙から、どのような順序で成立したのかとなると諸説は分かれる。ちなみに六・一四―七・一は、言語や思想の点でパウロの真筆であるかどうかも疑わしい。

ある有力な学説は、合計五つの手紙を想定する。その要点の一つは、パウロが二度目のコリント訪問で一人の信徒からひどい仕打ちを受けて当地を退散した後に、「涙ながらに」書いたとされる手紙が（二・一以下、七・八以下を参照）、現在の一〇―一三章にほかならないという主張である。これは疑わしいと思う。一〇―一三章には、パウロを悲しませたという教会員についての何の言及もない。パウロはむしろ、明らかに外部から到来したキリスト教伝道者たち（一一・五「大使徒たち」）に激しく反論している。つまり、状況が符合しないのである。

今のところ私は、一コリより後に執筆された「涙の手紙」は散逸し、状況が好転した後に一―七章が書かれ（ただし上述の六・一四以下は除く）、その後の急激な状況悪化を受けて一〇―一三章が書かれたと想定している（もっとも、エルサレム教会への献金を勧める八章と九章の位置づけはよく分からない）。

メタファー的思考と解釈の実践

二コリにおいてパウロは、論争その他の新しい状況に直面して、しばしば卓抜した比喩を使って状況を新しく解釈し、事態を打開する方向性を探っている。いくつか指摘しよう。

〈キリストの手紙である教会〉――推薦状を持参しつつ諸教会を巡回する他のキリスト教伝道者たちの存在を逆手にとって、パウロは、自分たちの「推薦状」はコリント教会そのものだと言う（三・二以下）。それだけではない。こ

の推薦状の著者はキリストご自身、受取人は「すべての人々」、さらに保管場所はパウロたちの「心」、筆記用具は「墨ではなく生ける神の霊」、素材は「石の板（＝モーセ律法）ではなく人の〔原語は「肉的な」〕心の板」である。この一連の比喩的な発言は、〈神（聖霊）―キリスト（新しい契約）―使徒―教会（信徒）―世界〉の相互関係をもう一度新しく理解するための手がかりを読者に提示する。教会共同体と推薦状という、元来は無関係な二つの意味関連を重ね合わせる思考法は、ホメロスの英雄叙事詩で戦士アキレウスをライオンと見なしたり、自然を神殿にたとえたりするのと同様の認識構造を示す。これを「メタファー的思考」と呼んでよいだろう。

〈イエスの十字架と使徒の生〉――パウロは、使徒としての自分の実存を「宝を入れた土の器」と表現する（四・七以下）。背景にあるのは、福音宣教が「栄光の奉仕」である一方で、パウロ自身は惨めな逆境の中にあるということのギャップであろう。ここにパウロは、「わたしたちは、いつもイエスの死〔原語は「殺害」〕を体にまとっている」（一〇節）と〈衣服〉のメタファーを持ち込む。こうして、壊れ物のようなパウロの生（身体）は、イエスの十字架死の悲惨さを「まとう」。そこからパウロは、自分の苦難に満ちた生を通してこそ、イエスを「復活させた」神の力（「イエスの命」）が信徒たちに対して働くだろう、というラディカルな希望を紡ぎだす。

いわゆる「愚か者の語り」（一一・一六以下）にも、類似した自己認識がうかがわれる。パウロはあえて「愚か者」のふりをして、論敵たちを真似つつ、自分の誇りを数え上げる。しかし最後には、キリストの力が自分に宿るように、むしろ「大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう」（一二・九）と言う。語りの態度（愚か者として語る）と論理展開（十字架の逆説）の両方がメタフォリカルな構造を備えている。

〈キリストを「上に着る」〉――パウロは、一般信徒の生について、〈衣服〉と〈住居〉のメタファーを併用して語る（五・一以下）。自分たちは天からの住みかを着ることを待ち望みつつも、今は「地上の幕屋にあって」苦しんでいると彼は言う。「地上の幕屋」とは、人間の個々の身体を指す。その際、自分たちは、地上的な身体を「脱ぎ捨てる」ことではなく、新しい住居を「上に着る」ことを望むという但し書きは（五・四）、肉体からの霊魂の解放（「脱ぎ捨てる」）を救済と見なしたギリシア系の宗教思想との違いが意識されているようである。

〈和解の奉仕〉――この世に対する福音宣教の課題は、「和解」というメタファーを用いて解釈される（五・一一以下）。本来「和解」とは、人間相互の関係修復である（例えば一コリ七・一一「夫のもとに帰りなさい」は原語では「夫と和解しなさい」）。しかしパウロは、この概念を神の行為に適用する。「神はキリストによって世を御自分と和解させる」（一九節）。これはある意味で、神を人間化する思考である。他方、万人のためのキリストの代理死は、単なる仲裁行為を超えて、万人の生の目標を一新させる。キリストに結ばれる者は、単なる原状復元の域をはるかに超えて、むしろ「新しい創造」に参与している。それは、私たちが「神の義となる」（新共同訳は「神の義を得る」と意訳）ことである（以上一五―二一節）。これは、ほとんど人間の神化と言ってよいだろう。

このようにパウロは、新しい困難な状況に直面するたびに、比喩的な思考を使ってその状況を新しく読み解いていった。そのつど福音概念を厳密化し、使徒としての自己理解や信仰理解に新しい洞察を拓こうとしたのである。それは単なる言葉遊びでなく、生ける神の霊に信頼し、己の実存を賭けた生の実践そのものであった。こうした「メタファー的思考」による創造的な解釈実践は、現代の私たちにとっても示唆に富む。

本稿は二〇〇四年九月から十二月にかけて開かれた「第十五回聖書セミナー」の講義内容をもとにご執筆いただきました。

エッセー ㉒

パリでの修業時代とイエスのヴァイオリン

ジョン・チャヌ（丁 讃宇）

五歳の時より音楽の勉強を始め、桐朋学園大学在学中、故鷲見三郎先生の勧めで、パリ音楽院のミシェール・オークレール先生に師事することになり、フランスに向かいました。「花の都、パリ」「芸術の都、パリ」と言われるように、見るもの聞くものすべてが新鮮で素晴らしい雰囲気の中、感動的で夢のような日々が過ぎていきました。ルーブル美術館や近代美術館に足しげく通い、夜はオペラやコンサートを、学生としての特権で安く聴くことができたり、フランスが誇るシネマテーク（フィルム・センター）で映画をはしごしたり、あてどもなくパリの街を散歩したりと、肝心のヴァイオリンの練習をしている時間がないほど、さまざまなジャンルの芸術を満喫し、吸収しようとしていました。

私の師事した先生は、天才ヴァイオリニストとして世界中にその名を知られた方でした。しかし、キャリアの途中で腕を痛められ、演奏活動の中断を余儀なくされました。その後、オークレール先生は請われてパリ音楽院の教授になりましたが、まだ教え始めて日が浅く、生徒も少なかったので、私は先生の情熱を一身に受けることとなり、通常は週一回のレッスンですが、ほとんど毎日のように先生ご自身から手ほどきをいただきました。それは私にとって生徒冥利に尽きましたが、なにしろ私は音楽だけでなく他のことにも関心事が多かったので、なかなか先生の理想の弟子にはなれなかったようです。それでも、テクニック面で今まで身についていた技法をご破算にして、新しいメソッド（先生のメソッド）を習得することは、すでに十九歳であった自分にはなかなか大変なことで、勇気と根気がいる作業でした。先生の執念のような情熱と、まるで口移しのようなご指導により、五年間でマスターできたことに感謝の気持ちでいっぱいです。オークレール先生の流儀は、先生の師であるジャック・ティボーが属するフランコ・ベルギー派、カーメンスキーのロシア派、有名なガラミアンのアメリカ派という世界の三つの流派をご自分のものとして体現なさったものです。その伝統を私が引き継ぐことに、大変な誇りを感じるとともに、厳粛な気持ちにさせられています。

およそ五百年間の近代ヴァイオリン製作の歴史上、約三百年前にイタリア北部クレモナの町を中心に作られたヴァイオリンが最高とされています。その中でもアマティ、ストラディバリ、グァルネリの三人の巨匠の楽器が、現存するものの最高峰と言われます。細工といい、ニスの美しさといい、音の素晴らしさといい、三拍子揃った楽器は、この三人の巨匠が残した作品に例外なく見られます。

私のヴァイオリンは、グァルネリ・デル・ジェスです（デル・ジェスというのは後世の人々がつけたニックネームで、

彼のヴァイオリンのラベルには十字架が書いてあって、その下にイエスを意味するギリシア語の短縮形「ＪＨＳ」の三文字が添えられていたことに由来します）。

可憐で純で甘みのかかった音色のヴァイオリンで知られるアマティは、多くの弟子を育て、また、楽器の女王であるヴァイオリンの　王様　のような完全無欠なストラディバリは、人々から尊敬され、九十年の生涯を全うしました。この二人の巨匠による銘器は、当時の王侯貴族たちに好んでコレクションされ、演奏家たちも必死に競って手に入れようとしたようです。

それに比べ、グァルネリの生涯はとても謎めいたものでした。性格はわがままで、飲んだくれで、殺人の容疑で刑に服していたこともあったようで、彼の残した楽器はわずか百個前後と言われています。そして、彼の死後一世紀以上もたった後にあの鬼才パガニーニがこのデル・ジェスを引っ提げてヨーロッパ中を席捲するまでは、陽の目を見ずに忘れ去られていました。パガニーニの超人的な技術と、魂を抜かれるようなデモーニッシュなその音色で、人々はグァルネリ・デル・ジェスの魅力を初めて知らされたのです。それ以降、このデル・ジェスはヴァイオリニストたちの羨望の的になり、生涯に一度はこの神秘の音色を自分のものにしたいという欲求に駆られるのです。

現在ではアマティの楽器は、その繊細さゆえに大ホールでは十分にその魅力を発揮しがたくなりました。現代の巨匠ヴァイオリニストたちは、ストラディバリ派とグァルネリ・デル・ジェス派に分かれて、その個性を競っています。人生を肯定的に、楽天的に、幸福感いっぱいにとらえた音楽を目指すヴァイオリニストはストラディバリ派、人間の孤独感を見つめる内省的でデモーニッシュな芸術家肌のヴァイオリニストはグァルネリ・デル・ジェス派と分かれています。私の場合、華麗で立派で堂々とした演奏にあこがれるものの、悲劇の運命を戦い抜き、ついには浄化されるといったイメージの演奏を追い求める時、やはりこのグァルネリ・デル・ジェスで究極の表現が可能であろうかと思います。イエス様の十字架に象徴されるような　苦悩と救い　が、いみじくも、このグァルネリ・デル・ジェスの音に表現されるものと確信します。

私のグァルネリ・デル・ジェスは、理論物理学者であるあのアインシュタインが一時期所有していたものです。自分の理論で原爆が作られ、大好きであった日本にそれが初めて投下されたことを目の当たりにしたアインシュタインが、それ以降、世界平和のために尽力したことは広く知られている事実です。

私の演奏家としてのテーマである　世界の平和　　命の尊さ　　神の愛　が、この「イエス」の名を冠した、まさしくアインシュタインゆかりのグァルネリという楽器によって、広く多くの人々に伝わることを祈り、演奏していこうと思います。

ジョン・チャヌ（丁讃宇）
ヴァイオリニスト

ジョン・チャヌさんご出演の「聖書と音楽の出会い・岐阜」が、10月8日（土）13:30〜15:30　岐阜市内のメルサホールにて予定されております。入場無料ですので近隣の方はどうぞふらってご参加ください。

聖書を「民衆」のものにしようと努めた伝道者
山室軍平と聖書

鈴木範久 すずき のりひさ 立教大学名誉教授

救世軍というと、廃娼運動や救貧活動で名高い。しかし、日本の救世軍の指導者であった山室軍平は、救霊をともなわない社会事業は、まるで仏を造って魂を入れないのと同じだという。救世軍活動の究極的な目標は、身体的な救済のみならず精神的な救済に置かれた。

山室が精神的な救済のよりどころとしたものは、いうまでもなく聖書である。山室の著作としては『平民之福音』がよく知られているが、全著作のなかで特に目立つ書物は、一連の「民衆の聖書」である。

「民衆の聖書」は、一九二一（大正一〇）年に出版された『マタイ伝余師』に始まる。その「はしがき」によると、活版職工として働きながら聖書を読み始めたが、意味のわからないところが多かった。そのため、聖書について書いてあるものを見ると、こちらも同じで難しかった。

マタイ伝余師

そのとき思い出された本が、少年時代に叔父から授けられた大学、中庸、論語、孟子の四書と、それらをやさしく説いた『経典余師』という参考書であった。『経典余師』とは、江戸時代、讃岐に生まれ鳥取藩に仕えた儒者渓百年によって作られた一般向きの教科書である。「余師」は「ほかの先生」の意味である。論語の最初の部分を覗いてみると、上欄に「子曰はく学で時に之を習亦説び不ん乎」と読み方が記されている。本文には、「学問の道更にかたき事なしたとへば鳥の始て飛ならふ如く少しの間のかよはきも後々は海山をも飛こゆべし」との説明がなされている。

儒教の『経典余師』をモデルとして山室は、一九二一年から翌年までの間に『マタイ伝余師』、『マルコ伝余師』、『ルカ伝余師』、『ヨハネ伝余師』、『使徒行伝余師』、『ロマ書余師』の六冊を

出した。いずれも総ルビつきの聖書の本文を二段組みで掲げたあと、説明を加えている。一回分を新聞記事で一段半くらいの長さとし、一日で読めるように工夫してある。

もちろん、聖書の学問的説明は一切ない。聖書によって「実行的又心霊的の教訓」を学ぶことが目的である。理解を助けるために、日本で人々の間に昔からよく知られている道歌やことわざが至るところに用いられている。たとえば、マタイ伝第六章の「なんぢら己がために財宝を地に積むな」で始まる部分には、次の道歌が登場する。

欲深き人の心と降る雪は、つもるにつれて道を忘る、

これらの「余師」シリーズは、関東大震災による紙型の焼失によって新たに書き改められ、「民衆の聖書」シリーズとなった。キリスト教を受け入れた日本人のなかで、おそらく山室ほど、聖書を「平民」と「民衆」のものにしようと努めた人はいないのではないか。娘の名前にまで「民子」と付けたほどである。これも、初期のキリスト教受容者と異なり、山室が貧しい農家の出身であったためかもしれない。

山室軍平

ところで、残念ながら山室自身の愛用した聖書は、いまだ行方が定かでない。代わって救世軍資料館には、山室がブース大将から与えられた英文聖書が遺されている。それには、ブースの手で次の献辞が記入されている。

To/L't. Colonel Yamamuro/with the/Appreciation and affection of him. General/William Booth./February 3rd 1912./Glory to God in the Highest. Japan for Jesus

この英文聖書を山室がかなり読み込んでいたことは、各所に朱色および青色の色鉛筆でアンダーラインが付されていることでわかる。一例だけ挙げると、マタイ伝四章四節の Man shall not live by bread alone, but by every word that proceedeth out of the mouth of God.（新共同訳、「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」）に下線が見られる。

なお、たまたま筆者が入手した聖書には、山室の次のような献辞が書き込まれている。

神ノ外畏ル所ナク、罪ノ外恥ル所ナク、
基督ト其ノ十字架トノ外何事ヲモ知ラザル者
百人アラバ世界ヲ動カスコトヲ得ベシト、
ウエスレーハ言ヒヌ、
君ガ其ノ一人タランコトヲ祈リテ止マズ

山室軍平

山本君ノ為ニ　一〇、一一、一〇

（「山本」は山本増造宛か。朝野洋氏談）

ブースから贈られた聖書と献辞

ミニ聖書展を開催してみませんか

5月27日から6月上旬まで、愛知県の知多半島の中央に位置する武豊町の同盟福音キリスト教会グレースチャペル武豊、そして名古屋と隣接する稲沢市の稲沢教会にて、「グーテンベルク印刷機と聖書展」が開催されました。これまで全国各地の聖書展にて用いられてきた聖書の和訳史、翻訳史のカラーパネルが展示されるとともに、各国語聖書や聖書書道などが礼拝堂いっぱいに展示され、来場者の人気を呼んでいました。また、グーテンベルク印刷機レプリカ（印刷博物館所蔵）を用いて、当時の印刷工の服装での印刷実演も行われました。あわせて期間中には、映画「海嶺」の上映、バイオリン&ピアノ・コンサートなども開催され、盛況でした。

皆様の教会でも、記念行事や特別伝道集会にあわせてミニ聖書展を企画してみませんか。日本聖書協会では、パネルや聖書など展示物の貸出にてご協力させていただきます。どうぞお気軽に広報係までご相談ください。　Tel.03-3567-1988

超教派による聖書リレー朗読会、神戸、千葉にて行われる

かつて開催された聖書展後の企画として、聖書リレー朗読（通読）会が東西2個所で開催されました。本誌ではすでにおなじみの「クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス」（期間：5月9～13日）、続いて「千葉バイブルフェスタ」（千葉キリスト教連合会主催　期間：5月15～26日）です。特筆すべきは、これが教会個別の企画ではなく、教派を超えて参集した人々によって聖書が初めから最後まで読み通されたことです。編集子は、神戸でも千葉でも、最後の1時間だけ働いたぶどう園の労働者のように、最終日の結びのところのみ参加させていただきましたが、参加者の方々と同じだけの恵みをいただいて帰ってまいりました。ふだん個々の教会で読まれている聖書を、同じ地域の教会の人々が一つところに集まって共に朗読することにより、互いに励まされています。また、個々の教会においても、みことばを読むことによって一致することは実に聖書的なことではないでしょうか。日本聖書協会では、個人、教会、地域での聖書通読をお勧めしています。

聖書協会から通読認定書をお渡ししました（神戸）

最後にヨハネの黙示録21,22章を全員で朗読（千葉）

コンサートのお知らせ

東京スコラ・カントールム　チャリティーコンサート

- 2006年1月22日（日）午後4:00開演
- 場所：ティアラこうとう
- 「手話訳聖書製作のために」他
- 曲目：ヘンデル「メサイヤ」
- 指揮者：イエルムシュトラウベ
- お問い合わせは募金部へ　Tel. 03-3567-1980

2006年 日めくり聖句カレンダー

御言葉と共に歩むことは、
素晴らしい。

家族伝道に、
そして福音の進展の為に、
プレゼントとして
お用い下さい。

定価:
1,500円(税込)

お問い合わせ／各教会・キリスト教書店・丸善各店またはみことば企画(☎086-222-8297)

2006年『日めくり聖句カレンダー』販売のご案内

世界初、『手話訳聖書』の全巻完成をめざして

生まれつきのろう者にとって、文字で書かれた聖書を読むことは大変困難です。ろう者が第一言語とする「手話」で翻訳された聖書の製作を、「日本ろう福音協会」と協力して進めています。DVD 1枚（マルコによる福音書全収録）を製作するためには、約200万円の資金を必要とします。ほとんどの製作費が皆様のご献金により支えられ、1枚100円で頒布しています。

「みことば企画」様のご協力により2006年『日めくり聖句カレンダー』を1冊ご注文いただくことで、定価1,500円の中から300円が『手話訳聖書』の製作費として用いられます。

＊「手話訳聖書」に用いられるのはこの申込用紙にてご注文いただいた場合に限ります。＊

昨年は皆様から522冊のご注文をいただき、157,800円を「手話訳聖書製作」のためにお捧げいただきました。今年も昨年同様、ご注文くださいますようお願いいたします。

2006年『日めくり聖句カレンダー』1冊につき300円は
日本聖書協会と日本ろう福音協会が協力して進める
『手話訳聖書製作』のために用いられます。

財団法人 日本聖書協会 募金部（TEL.03-3567-1980）

FAX. 03 - 3567- 4436　財団法人 日本聖書協会 募金部 行

FAX注文書

※ご注文はFAXをご利用ください。

ご 芳 名

ご 住 所　〒　－

TEL.　－　－
FAX.　－　－

ご 注 文　『日めくりカレンダー』　冊を注文いたします。

※ 送料は1冊から10冊まで500円（一律）、10冊以上は無料です。恐縮ですが、お申込みは10月末日までにお願いします。
先着順で発送いたしますので売切れの場合はご容赦ください。
発送、請求は「みことば企画」（TEL.086-222-8297　担当/嘉崎）から直接いたします。

Bible Guide

旅行に最適！ ポケットに入る新約聖書

薄型、軽量（200グラム程度）の新約聖書を取り揃えました。
この夏、聖書と一緒に旅をしてみませんか？

ミニ判新共同訳 新約聖書／詩編つき

現在、入手できる最も小さなサイズ（B7判）の新約聖書です。常時上着のポケットに入れて、聖書と共にある生活をしてみませんか。

●型番　NI 334
●B7判（100mm×133mm）
●重量　145g
●定価　1,050円（税込）

アート新約聖書 名画ギャラリーつき　新共同訳

話題の『アートバイブル』から厳選された16葉の美しい名画が新約聖書につきました。この夏、聖書と共に美術館を巡る旅はいかがでしょう。

●型番　NI 240 ART
●A6判（105mm×148mm）
●重量　230g
●定価　840円（税込）

小型口語訳 新約聖書／詩篇つき

口語訳に親しんでいる方にはこちらを。詩篇もついて、口語訳新約聖書では最小サイズです。旅先で読む聖書もまた一味違うはず。お勧めです。

●型番　JC 344
●A6判（115mm×153mm）
●重量　180g
●定価　1,050円（税込）

小型文語訳 新約聖書／詩篇附

隠れたロングセラーの文語訳聖書。神のみ言葉を格調高く、美しい日本語で堪能できます。若い方にもぜひ読んでいただきたい一冊です。

●型番　JL 343
●A6判（115mm×155mm）
●重量　206g
●定価　1,260円（税込）

その他、ポケット版の英語新約聖書もございます。
TEV 5102　詩編、箴言つき　サイズ 85mm×117mm　定価 945円（税込）

●ご注文方法

ご注文は、最寄りのキリスト教書店へお申し込みいただくか、巻末のハガキを用いてご注文ください。なお、巻末ハガキによるご注文は代金着払い（代引き）扱いとさせていただきますので、お届け時に宅配便のドライバーに代金と手数料210円（税込）を合わせてお支払いください（何冊のご注文でも手数料は同額です）。

ここに記載以外の製品も当協会のホームページ

http://www.bible.or.jp/online/

からご注文いただけます

●財団法人 日本聖書協会
〒104-0061　東京都中央区銀座4丁目5番1号
聖書館ビル
TEL.03-3567-1987　FAX.03-3567-4451
ホームページ　http://www.bible.or.jp
Eメール　distri@bible.or.jp
振替00160-2-18410（価格は消費税5%込）

日本聖書協会の働きを継続的にご支援いただくために

後援会員になってください

すでに会員の方はお友達をご紹介ください。

聖書を受け取ったフィリピンの家族

主イエス・キリストを証しした神の言葉「聖書」は、真の救いに至る「命の糧」として、時代を超えて読み継がれてまいりました。聖書の製作が、これからも途切れることなく続けられるように、皆様の継続的なご支援が求められています。1人でも多くの方に日本聖書協会の後援会にご入会いただき、聖書製作を、お祈りとともに資金面でもお支えいただきたいと願っております。

2005年度、皆様の会費は主に下記の目的に用いられます。

★海外の、聖書を必要とする国々へ「み言葉」をお届けするために
★スマトラ沖津波被害国へ「み言葉」の支援のために
★点字聖書の製作のために
★手話訳聖書ビデオ／DVD製作のために

手話訳聖書ビデオ／DVD

ご入会いただいた方には年４回発行のニュースレター「からし種」をお届けして、聖書協会の働きを詳しくご報告いたします。聖書普及の働きがいつまでも続けられるように、後援会員になって継続的なご協力をお願いいたします。

★年会費は下記の５種類からお選びいただけます。

1口： 1,000円 ／ 3,000円 ／ 5,000円 ／ 10,000円 ／ 50,000円

後援会入会申込みは綴込みハガキをご利用ください。

ホームページでも「入会申込み」をお受けしています。 http://www.bible.or.jp/collect/col03.html

Become a member and support the Bible Work

編集後記

この秋発行予定の『パノラマバイブル』を今号の特集として取り上げました。聖書の世界を立体的に展開する試みとして、聖書の百科事典や図鑑類が数多く出版されています。しかしながら、聖書本文はごく断片的に扱われていることが多かったように思います。その点、パノラマバイブルでは、抜粋とはいえ完結した聖書の物語をじっくり読むことができます。聖書が主体となり、数多くの資料が彩りよく盛り込まれ、物語全体を展望させてくれます。

パノラマといえば、江戸川乱歩の探偵小説『パノラマ島奇談』や名鉄「パノラマカー」など、昭和中期の事柄を連想させます。これらを今聞くと不思議と懐かしく感じるのは、ＳＦＸ、ＶＦＸといった映画の特殊効果や、次々と高性能化するゲーム機など、技術優先のＶＲ（仮想現実）が、現代の私たちを取り巻く環境に氾濫しているからでしょうか。かえって「パノラマ」という語句が親しみや温かみすら感じさせるとも思えます。

「パノラマ」にはもともと、半円形の壁画や模型などで構成される人工的な装置という意味のほかに、「見渡す限りの景色」（『現代新国語辞典』学研）という意味もあります。

立体的に聖書を見渡しながら理解を深め、さらに別の物語へとも読み進まれた読者の方が、次第に聖書のパノラマ装置となっていく……。ぜひ多くの皆様が「聖書を体験」されることを願っています。

◆本誌へご意見・ご感想をお寄せください。お葉書、Ｅメールなどでお受けいたします。お寄せくださった方には素敵な『絵葉書セット』をもれなくプレゼントいたします。
Ｅメール／info@bible.or.jp

聖書図書館蔵書シリーズ──㉔

ウィクリフ訳新約聖書

1388年刊
（ファクシミリ版1986年）
縦：19cm　横：13cm

「宗教改革の明けの明星」と呼ばれているジョン・ウィクリフにより中世英語で翻訳された最初の英訳聖書。彼は、教会が素朴な本来の姿を取り戻すためには聖書の理解から始めるべきだと考え、ラテン語訳聖書ウルガタを底本に翻訳した。外典も含まれている。新約は1380年ごろ、旧約は1382年ごろ完成した。ウィクリフがどの程度実際に翻訳に携わったかは不明である。ヘレフォードのニコラスや弟子のジョン・パーヴェイなどが関わったとされる。

まだ印刷術が発明されていなかった時代であり、手書きの写本聖書であったが、ウィクリフの組織したロラードと呼ばれる巡回説教者の活動により、大衆の間に普及した。

この訳は逐語訳でぎこちないが、簡潔で力強い表現はその後の翻訳に影響を与えた。

ウィクリフの死後、ジョン・パーヴェイによって改訂された。

SOWER ソア No. 26
2005年7月1日発行
【2月・7月の年2回発行】
発行・財団法人 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451 振替 00160-2-18410

見るか。読むか。学ぶか。

聖書はあなたを待っています。

2005
9.1発売
2005年5月1日(日)
予約開始

この1冊で
聖書の世界をワイドかつ
立体的に一望できます。

パノラマバイブル

The Panoramic Bible

体験する聖書

5月1日～10月31日
(発売前後6ヶ月)

お申し込みの方
特別定価 26,460円
(税込)

定価29,400円(本体28,000円+税) サイズ: B4判 257×364mm 208ページ
監修・発行: 財団法人 日本聖書協会

財団法人 日本聖書協会 JAPAN BIBLE SOCIETY
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
頒布部 TEL.03-3567-1987 FAX.03-3567-4451
ホームページからもご注文いただけます http://www.bible.or.jp

財団法人 日本聖書協会のホームページ
http://www.bible.or.jp

編集協力＝雑賀編集工房
デザイン＝株式会社 デザインコンビビア

印刷＝株式会社 高速オフセット